

平成 30 年度第 2 回美唄市総合計画審議会会議録(概要)

と き 平成 31 年 1 月 23 日(水) 13:30～

ところ 市役所 2 階 大会議室

◆次第

1 開 会

2 議 題

(1) 美唄市総合計画審議会「部会」の意見集約について

(2) 今後のスケジュールについて

3 その他

4 閉 会

◆出席者

全委員 26 名中、出席委員 19 名、欠席委員 7 名

◆会長あいさつ

本日は、昨年 11 月に行った「部会」で出された意見を報告いただき、本審議会の意見として集約することについて、協議をいただくことになっており、よろしくお願いしたい。

◆議題(1) 美唄市総合計画審議会「部会」の意見集約について(事務局から説明)

《質疑応答》

①第一楽章について

→特になし

②第二楽章について

【委員】

- ・記録上、書き足してほしいという意味ではないが補足がある。
- ・子育て支援の中で、国の施策がいろいろある。一方で乳幼児から小中高青少年まで含んでいる。そういったことがあるので、子育て支援を検討する際には、非常に多岐にわたっているのも、その組立を総合的に検討したほうが良い。
- ・子育て世帯が他の市町村に流出しており、市では人口減少が急速に進んでいる。市外から働きに来ている人がいる一方で、市外に流出している人も多い。市外から美唄市に通っている人たちが美唄市に居住できるような支援をしなければ、子どもを産み育てる世帯は増加していかない。親も含めて対応していかなくは美唄市の人口減そのものに対応することはできない。

③第三楽章について

→特になし

④第四楽章について

→特になし

⑤第五楽章について

→特になし

⑥最終楽章について

【委員】

- ・「町内会にとらわれず意見を取り込む仕組みづくり」とは、具体的にどういったことが想定されるのか。

【事務局】

- ・市の広聴においては、「市長との対話の日」などにより意見を収集しており、また、市の管理職により構成される「地域応援チーム」を編成し、各地域で困りごとの聞き取りをしている。

【委員】

- ・町内会の解散などが進み、町内会にとられない、意見を取り込む新しい仕組みづくりも大事だが、町内会を維持させていくことも非常に大事である。

◆議題(2) 今後のスケジュールについて(事務局から説明)

《質疑応答》

【委員】

- ・このたび部会で審議した「施策評価表」は、平成 28 年度から平成 29 年度の施策を評価したものであり、資料 1 の「美唄市総合計画審議会「部会」意見集約」は、意見交換の内容をまとめたものである。
- ・しかし現実には、平成 30 年度は終わろうとしており、平成 30 年度に行われていることが多々ある。
- ・例を出すと、「図書館の指定管理者制度」などがある。「図書館の指定管理者制度」はみんな反対をしていたが、結果として通ってしまった。
- ・同じように今回の資料 1 の 2 ページの 16 番に「公園施設の再整備を進めてほしい」という意見もある。

- ・こうした平成 30 年度の出来事については、本日の会議では配布されていないが、委員に事前配布されている「総合計画審議会部会シート」の中に出てくる。
- ・総合計画審議会から具申するのは、あくまでも施策評価についてであり、平成 30 年度中の出来事は反映されていない。
- ・総合計画審議会から市長に具申するに当たっては、平成 30 年度にすでに行われていることに対して意見交換を行った「総合計画審議会部会シート」も含めて、市長と市役所担当課における検討整理が行わなければならないと考える。

【事務局】

- ・「総合計画審議会部会シート」については、市長及び市役所担当課に配布し、これらについても検討整理の対象とする。
- ・本日集約した意見については、市役所の各担当課において検討・整理を進め、現在、編成作業を進めている平成 31 年度予算に、できるものから反映したいと考えている。
- ・そして、平成 31 年度予算成立後の 4 月頃に総合計画審議会を開催し、その反映の状況を説明したいと考えている。

◆その他

→特になし

◆閉会